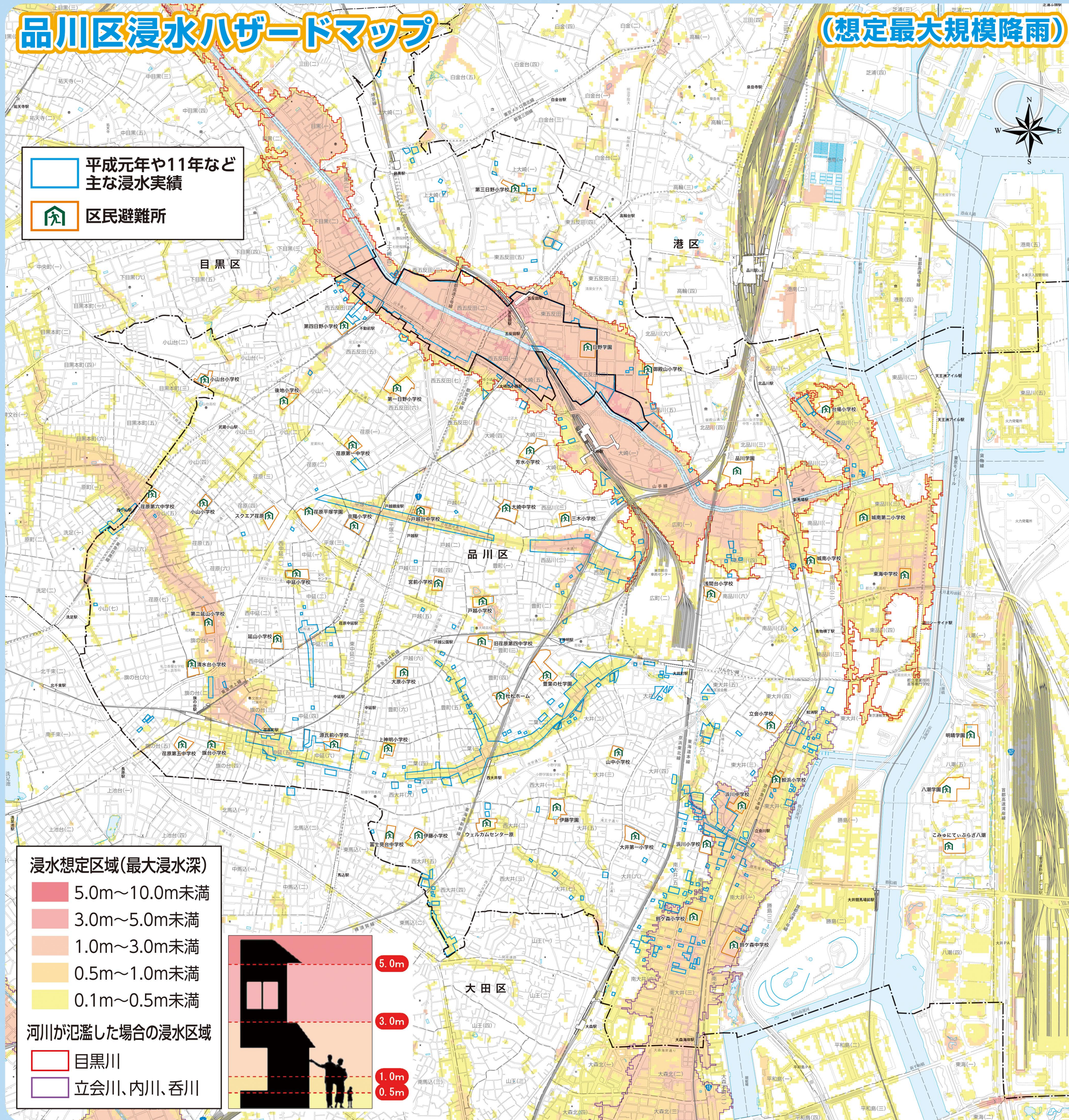


品川区浸水ハザードマップ

(想定最大規模降雨)

平成元年や11年など
主な浸水実績

区民避難所

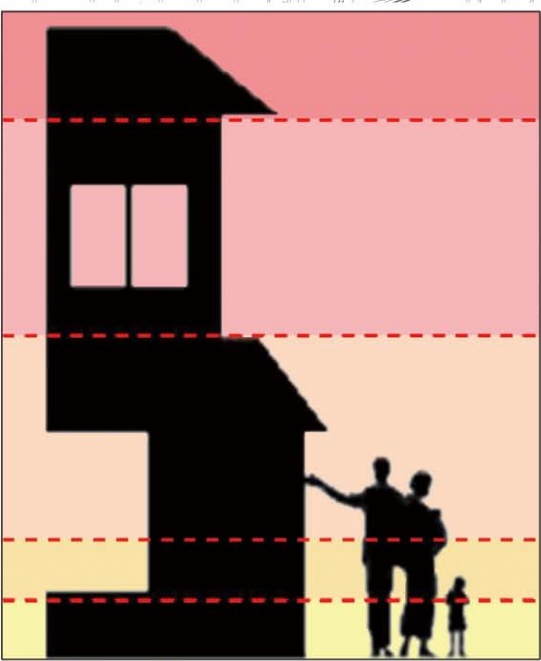


浸水想定区域(最大浸水深)

- 5.0m~10.0m未満
- 3.0m~5.0m未満
- 1.0m~3.0m未満
- 0.5m~1.0m未満
- 0.1m~0.5m未満

河川が氾濫した場合の浸水区域

- 目黒川
- 立会川、内川、呑川

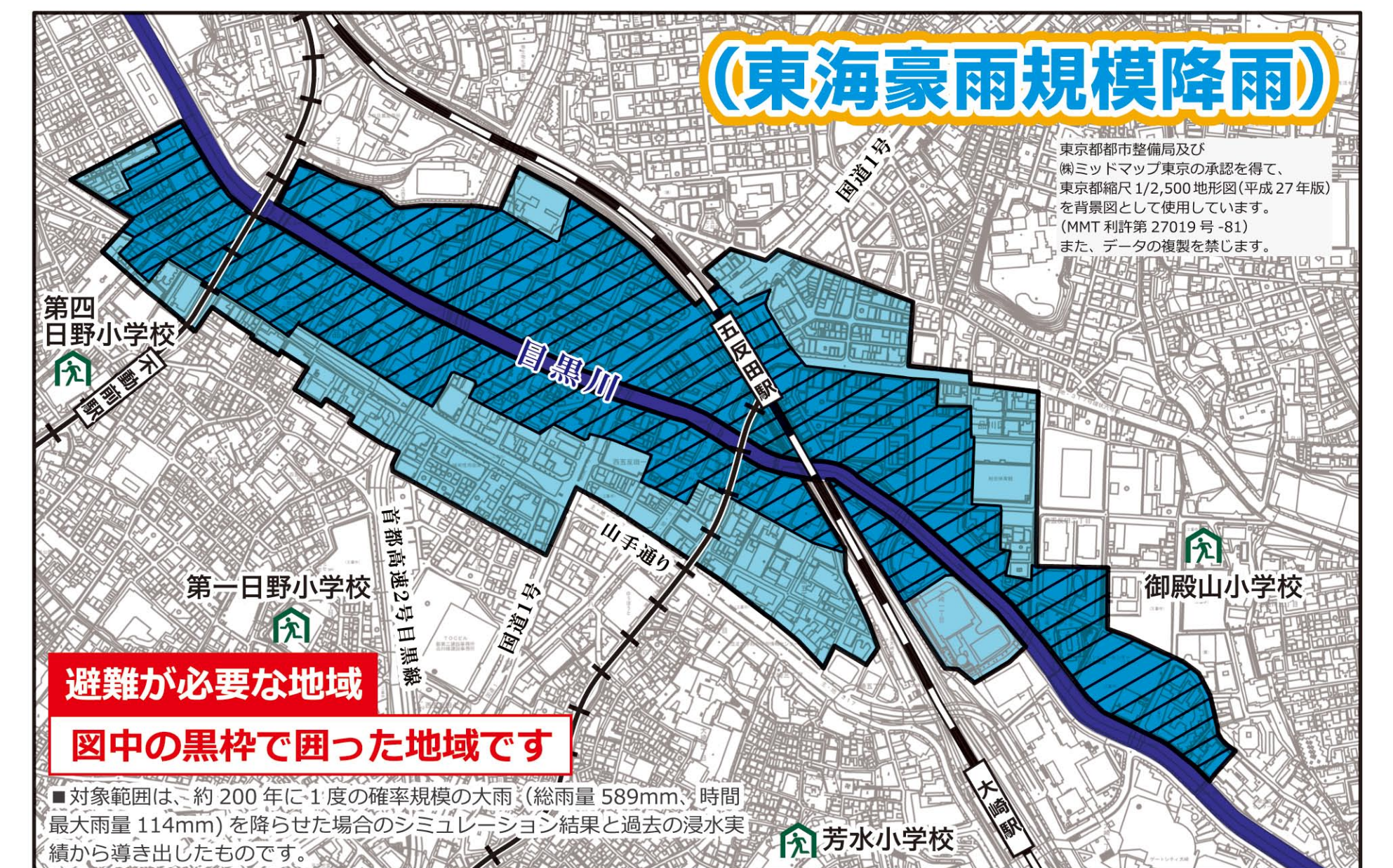


- この図は、城南地区を流れる渋谷川・古川、目黒川、立会川、内川及び呑川の流域や、雨水が直接海域や国管理河川へ排水される区域等を対象にして、大雨が降った場合に、浸水が予想される区域と想定される最大の水深を示したものです。
- これまでの浸水予想区域図は、大雨を「平成12年9月に発生した東海豪雨」としていましたが、今回の浸水予想区域図(改定)では、「想定し得る最大規模の降雨」に変更しています。皆様には、洪水の可能性について知っていただくことにより、「緊急時の防水、避難」、「水害に強い生活様式工夫」等に役立てていただくようお願い致します。この浸水予想区域図(改定)は、想定し得る最大規模の降雨が「対象とした区域」に降った場合に、シミュレーションにより予測される浸水の状況を示したものです。シミュレーションでは、対象とした地域における現時点(平成29年)での河川、洪水調節池及び下水道の整備状況等を考慮しています。
- 浸水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川、下水道の整備状況等により変化することがあります。一般的に河川沿いは低地であるため、浸水したときの水深が大きくなり注意が必要です。また、河川から離れていても、地盤が低い箇所等では、浸水したときの水深が大きくなるので注意してください。また、落ち葉による雨水ますの詰まり等により起きる浸水は、シミュレーションでは、反映しきれないため、注意してください。

対象とした降雨想定最大規模降雨
(時間最大雨量 153mm)(総雨量 690mm)

※この図は平成30年12月20日に東京都が公表した「城南地区河川流域浸水予想区域図」に基づき品川区が作成を行ったものです。

避難対象地域にお住まいの方は、目黒川のはん濫にご注意ください。



避難が必要な地域
図中の黒枠で囲った地域です

対象範囲は、約200年に1度の確率規模の大雨(総雨量589mm、時間最大雨量114mm)を降らせた場合のシミュレーション結果と過去の浸水実績から導き出したものです。

予想浸水深1.5m~2.7m区域	予想浸水深0.5m~1.5m区域
<p>目黒川周辺の避難場所</p> <ul style="list-style-type: none"> 御殿山小学校 第一日野小学校 芳水小学校 第三日野小学校 第四日野小学校 	

町丁目一覧表 詳しくはお問い合わせください。

西五反田1丁目一部	西五反田4丁目一部	大崎1丁目一部	東五反田2丁目一部
西五反田2丁目一部	西五反田5丁目一部	大崎5丁目一部	東五反田5丁目一部
西五反田3丁目一部	西五反田7丁目一部	東五反田1丁目一部	北品川5丁目一部

※最大規模の想定より発生の可能性が高い想定です。日頃より気象情報や避難情報にご留意ください。

※浸水状況に応じて避難所を開設します。テレビやホームページ等で区が発表する避難情報をご確認ください。